

平成 3 1 年度

社会福祉法人 戸沢村社会福祉協議会  
事 業 計 画

社会福祉法人 戸沢村社会福祉協議会

# 平成31年度

## 社会福祉法人戸沢村社会福祉協議会 事業計画

### 【基本方針】

少子高齢化による人口減少と核家族化に伴い、一人暮らしや高齢者世帯が増加。孤独死やひきこもりなどの社会的孤立の問題、経済困窮や低所得の問題、虐待や悪質商法などの権利擁護の問題など、地域における生活課題は多様で複雑になっています。

国においては、誰もがあらゆる場で活躍できる「ニッポン一億総活躍プラン」を掲げ、厚生労働省においても「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を設置し、地域における課題の解決力強化などをめざす「地域共生社会」実現に向けた取り組みを進めています。また、社会福祉法、介護保険法等の改正も行われ、市町村における包括的支援体制の整備や、社会福祉協議会と他社会福祉法人等との連携・協働による新たな事業・活動の展開が求められるなど、地域福祉の動向は目まぐるしく変動しています。

このような情勢の中、戸沢村社会福祉協議会では、戸沢村の基本理念である「自立・活力・協働による元気な村の創造」の実現及び地域の皆様とともに子どもから高齢の方まで誰もが安心して暮らすことができる福祉のむらづくり推進のもと、様々な事業を行っています。平成31年度は地域住民や民生児童委員、関係団体及び行政と連携・協力し、「地域の課題解決の支援」、「生きがい・交流の場づくり」、「相談・生活支援」など各種事業の継続と充実に努め、「お互いさまのむらづくり」、「支え合う地域づくり」を目指し、それぞれの事業を展開していきます。

### 【重点目標】

#### 1、地域の課題解決を支援します

- ・生活支援体制整備事業の一つである生活支援コーディネーターの委託を受け職員を配置し、地域課題の解決にともに取り組みます。
- ・アウトリーチ（訪問活動）を積極的に行い、地域の社会資源とニーズを把握し、必要な福祉サービスの構築を支援します。

## 2、生きがい・交流の場づくりの推進

- ・ふれあいサロンの運営を支援し、世話人の育成に取り組みます。
- ・介護予防プログラム積極的導入とふれあいサロン交流会を行い、サロン活動の活発化を図ります。
- ・誰でも利用できる休日の居場所づくりに取り組みます。

## 3、ボランティアの養成と活動支援、ネットワークの構築を目指します

- ・ボランティア活動の募集と活動の場を提供していきます。
- ・ボランティア連絡会を組織し、ネットワークの構築に取り組みます。
- ・災害ボランティア養成、センターの設置訓練に取り組みます。

## 4、相談・生活支援の充実を目指します

- ・総合相談を受け、生活困窮者自立相談支援事業所や自治体、関連機関と連携し、要援護者が自立した生活が行えるように支援します。
- ・福祉サービス利用援助事業の委託を受け、金銭管理やサービス利用等の支援を行い安定した生活が送れるように努めます。
- ・生活困窮世帯に貸付や一時援護費の支給を行い世帯の自立に資するよう努めます。

# 1、法人運営事業

## (1) 役員会等の運営

理事会、評議員会、監事監査の開催

## (2) 関係機関、各種団体、福祉施設との連絡調整

①民生児童委員協議会      ②福祉団体および社会福祉施設等

③最北・最上管内社協との事業連携

## (3) 各種委員会の開催

①たすけあい資金運営委員会

②災害ボランティアセンター運営協議会

## (4) 各種会議・研修会に参加し、役職員の資質向上を図る

## (5) 財務管理・会計処理を適切に行い資産の状況を明確にする（毎月）

会計士の指導（処理状況のチェック年2回）

## (6) 各福祉団体の事務局業務の受託（4団体）

老人クラブ連合会・遺族会・身障者福祉協会・手をつなぐ育成会

- (7) 職員の福利厚生の充実（福利厚生センターへの加入・健康診断料助成）
- (8) 福祉活動車運行事業（車両 3 台の管理）
- (9) **福祉サービス利用援助事業**（県社協委託事業）

福祉サービスの利用に関することや、日常的な金銭管理を行い、その権利を擁護するとともに自立生活を支援します。専門員を配置して、本会が基幹的社協となり、契約締結・支援計画の作成を行う。専門員の指導のもと、生活支援員が日常の支援を行っていく。

※今年度新たに専門員となる職員が実践力向上研修に参加

- (10) **福祉人材派遣事業**（村委託事業）

戸沢村地域包括支援センターへ主任介護支援専門員を派遣

## 2、地域福祉事業

- (1) **生活支援体制整備事業**（村委託事業）

- ①生活支援コーディネーターの配置
- ②地域に積極的に出向き、課題の把握をする
- ③地域課題に合わせた必要な福祉サービスの構築支援
- ④協議体にメンバーとして生活支援サービスの推進を支援する

- (2) **生きがい・交流の場づくり事業**

だれでも利用できる平日・休日の居場所の提供

試験的に 10 月頃より土曜日の居場所提供を検討

- (3) **寝具クリーニングサービス事業**

寝具のクリーニングを行い寝具の衛生を保ち感染症等の予防を図る。

※一人暮らしのみ寝具に加えこたつ布団のクリーニングを追加

（寝たきり高齢者は年 2 回、一人暮らし高齢者は年 1 回）

- (4) **ボランティア活動推進事業**

- ①ボランティアの募集と連絡調整
- ②災害ボランティア養成講座、災害ボラセン設置運営訓練
- ③ボランティア連絡会を組織しネットワークを構築する
- ④最北地区ボランティアの輪連絡会議での情報交換、研修参加
- ⑤ボランティア活動保険の加入費用助成（175 円/人）
- ⑥ボランティア活動団体へ活動費の助成（5,000 円/年）3 団体

(5) 心配ごと相談員事業

複雑、多様化する心配ごとに対し法律家の助言を受けられるように、無料法律相談ができる機会を増やす。年4回。(うち1回は山形県社会福祉協議会の助成で実施。)今年度より心配ごと相談員はおかない。

(6) 生活福祉資金貸付相談事業 (県社協委託事業)

低所得者、障がい者または高齢者世帯に対し、福祉資金貸付の相談、書類作成の支援を行う。また、償還事務では滞納者に、県社協及び担当民生委員と連絡を密にしながら償還指導にあたる。緊急小口資金・総合支援資金の貸付は生活自立支援センターと連携を図る。

(7) 行路困窮者旅費支給事業

行路困窮者への支援として、最寄り駅までの切符を支給。

(8) 一時援護費支給事業

対象は戸沢村内在住者であって火災等の災害や生活困窮者で一時的に援護を必要と認めるものに支給。(上限2万円)

(9) 広報活動

①機関紙「社協だより」の発行

本会事業の推進状況を報告。事業経営の透明性の確保として財務状況を掲載し、住民への報告とする。(年3回発行予定)

②ホームページ・フェイスブックの活用

定款、財務状況のインターネット上での公表義務あり、役場のホームページに社協のバナーを増設してもらい対応。いずれは独自のホームページを設ける。フェイスブックで社協の活動報告を行い周知を図る。

(10) 慰霊顕彰事業 (村委託事業)

戸沢村中央公民館にて戦没者追悼式を実施。

### 3、 老人福祉事業

(1) 一人暮らし老人等ふれあい弁当事業 (村委託事業)

概ね65歳以上の一人暮らし、高齢者世帯、心身障害・疾病により調理が困難な単身世帯の希望者に、老人相談員が弁当を配布し安否確認を行う。

(月4回)

(2) **高齢者見守り活動事業** (村委託事業)

概ね80歳以上の一人暮らし老人及び85歳以上の高齢者世帯、その他見守りが必要な世帯を対象とした見守り活動事業。(週2回、1回2本ずつヤクルトを配布)

(3) **高齢者見守りの充実**

介護保険等の福祉サービスの利用にまでは至らない一人暮らし老人に対し、必要に応じ上記(1)、(2)の併用を認め、安否確認が適切に行われるように見守り体制を充実していく。

(4) **元気な高齢者づくり事業** (村委託介護予防普及啓発事業)

地域に集いの場をつくり、地域のつながりの強化、心の健康維持(閉じこもりや孤立化を防止)と、体の健康維持(いきいき百歳体操や筋力強化運動や健康チェック)を図ることを目指す。

サロン活動支援では運動・栄養・口腔ケアに関する講師等を派遣し、介護予防に資する活動となるように支援を行う。

#### 4、共同募金配分金事業

(1) 一般募金配分金事業 (赤い羽根共同募金の地域への配分金)

① **一人暮らし老人の集い**

村内65歳以上の一人暮らしを対象。運動・栄養・口腔ケアの要素を取り入れた活動をすることで介護予防を図る。また、会食を通じて住民同士がコミュニケーションを図り孤立感の解消を目指す。(年3回実施)

② **一人暮らし老人見守り活動**

老人相談員が一人暮らし老人全員のお宅を訪問し安否確認を行う。

(年3回実施)

③ **男の料理教室・**

村内一人暮らし、老人夫婦世帯の男性を対象に、食生活改善推進委員会の協力による調理実習。

④ **高齢者健康教室**

高齢者の生活や健康についての講習会や大蔵村とワナゲを通じた交流を行い心身の活性化を図る。

④ **福祉団体育成事業**

福祉団体（身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会）の研修費助成。

⑤ **児童・青少年福祉活動**

学童保育利用児童への福祉体験学習会を開催。（夏休み期間に実施）

（２）歳末たすけあい配分金事業

- ① 歳末たすけあい運動の義援金を、村内低所得世帯に配分する。

## ５、たすけあい資金貸付事業

- ① 一時的に生活が困窮している世帯に対し貸付を行うことにより、経済的自立援助を図ることを目的に実施。（上限５万円）
- ② 滞納世帯に対しては速やかに償還されるよう、担当民生委員と連絡を密にしながらい指導にあたる。

## ６、各種会議・研修・大会等への参加事業

### （１）社会福祉協議会関係

- ① 社会福祉協議会役職員研修会（会長等会議、トップセミナー）
- ② 社会福祉協議会事務局長会議
- ③ 社会福祉協議会担当者会議（総務・地域福祉）
- ④ 心配ごと相談員研修会
- ⑤ 福祉サービス利用援助事業専門員・生活支援員研修会
- ⑥ 生活福祉資金関係研修会
- ⑦ ボランティア関係研修会（最北地区ボランティアの輪研修）
- ⑧ 除雪ボランティア関係研修会
- ⑨ 災害ボランティア関係研修会（災害ボランティアセンター設置運営研修）

### 〔福祉関係団体の育成指導及び事務〕

- ① 老人クラブ連合会②身体障害者福祉協会③遺族会④手をつなぐ育成会

### （２）各大会への調整

- ① 山形県・県民福祉大会                      ② 山形県老人福祉大会
- ③ 山形県知的障がい者福祉大会      ④ 山形県身体障がい者福祉大会
- ⑤ 山形県遺族大会及び山形県戦没者追悼式

⑥ 山形県身体障がい者レクリエーション大会

⑦ 最上広域身体障がい者スポーツ大会